

好きなものは変わらない！

グローバルセールス・シニアマネージャー **山室 聡 氏(高校31期)**

1960年8月東京都杉並区阿佐ヶ谷生まれ、東大和市育ち
1976年4月立川高校入学
1980年4月青山学院大学入学
1984年4月キヤノン株式会社入社 北米キヤノン勤務
2003年7月NAVTEQ(現HERE Technologies)社入社



■立高時代



日大三高に勝利した際

私が立高に入ったのは1976年。入学してすぐに野球部に入部。毎日練習に明け暮れていた。当時立川駅南口に名画座という名の鄙びた映画館があった。練習のない日に何度かこの名画座で映画を見た。ある日の映画が「アメリカン・グラフィティ」「タクシードライバー」「おもいででの夏」の3本立て。映画館を出たあと高揚感で立川の町を颯爽と自転車で走る坊主頭の高校生。この頃からいつしかアメリカに行く決めていた気がする。

野球部では3年の夏の大会で当時強豪シード校の日大三高を破りベスト8に進出。ベスト4をかけた日大桜ヶ丘戦で逆転サヨナラ負けで念願の甲子園は出場できず。同期の松本基淳は読売ジャイアンツに入団。かけがえのない経験と生涯の友人を得た。



野球部同期

■立高卒業後 大学～社会人～アメリカへ

大学は昨今箱根駅伝で話題の青山学院に入学。根っからの体育会人間の私は、当時流行っていたテニスが好きで体育会のテニス部に入部。インターハイや国体に出ていたスポーツ推薦の強者だらけの部員たちと腕を磨いた。試合相手は女子の準レギュラー選手たち。勝てない。負けると当時グラウンドのあった綱島駅近くの鶴見川沿いの土手を新横浜駅までランニング。駅で証拠の切符を買い一定時間内に戻る試練。厳しくも楽しい大学生活を送った。ここでも生涯の友を得た。



家族で娘の大学卒業時

卒業後当時から世界的にビジネスを展開しているキヤノンに入社。日本の良いもの、素晴らしい技術を海外の人々に伝えたいという思いと、アメリカに行けるかもとの思いから入社。入社3年でアメリカのバージニア州に駐在し、部品現地調達の仕事を4年。そこで知り合ったアメリカ人女性と結婚。1996年にカリフォルニア州に2度目の駐在。ここでは日本本社、アメリカ版社、工場、開発部門のコーディネート業務。2003年に帰任の命が出たものの、アメリカに残ることを決意し、転職。アメリカの新興デジタル地図会社に入社。アメリカ人社員の中で唯一の日本人営業担当として日系自動車メーカーにカーナビ地図を拡販し現在に至る。キヤノンでは日本の技術、良いものをアメリカに、現在は欧米の技術を日本の大手車メーカー(現在担当は北米トヨタ社)へ伝える仕事をしている。



SSH 立高生我が家訪問写真

■立高生へのメッセージ

高校時代から好きなものは変わらない！私はスポーツ(野球、テニス、今はゴルフ)と「アメリカ」が好きだった。それは今も変わらない。好きなスポーツを通じて得た経験、そして友人は一生の宝だ。今君たちが好きな「こと」を極めて欲しい！それが必ずや将来につながると信じる。

SSH活動の一環で現役立高生に毎年夏に南カリフォルニアの我が家を訪問してもらっている。立高の先輩がアメリカでどのような生活をしているのかを是非その目で見、体験しに来てください。